

**日・中南米有識者対話**  
**「開かれた地域主義(Open Regionalism)」**  
**—「質の高い成長」に向けた日本と中南米の相互協力—**

**日程・議題 (案)**

日 程	平成 30 年 10 月 11 日 (木)
場 所	国際協力機構 (JICA) 市ヶ谷ビル 国際会議場
主 催	外務省・国際協力機構 (JICA)
言 語	日・西・葡同時通訳

**10 月 11 日 (水)**

13:00-13:30 登録受付

13:30-13:35 開 会 式 全体進行 : 佐々木 修 ラテンアメリカ協会専務理事  
開会挨拶 中前隆博 外務省中南米局長 (5 分)

13:35-14:35 **第 1 セッション** (60 分)

**「国際環境の変化と自由で開かれた国際秩序の構築」**

今世紀に入り、アジア太平洋および中南米地域の国々は域内の地域連携を拡大・深化することで大きな発展を遂げた。しかし、近年、その基盤となる国際秩序が、中国の台頭、英国の EU 離脱 (Brexit)、米国のリーダーシップの相対的低下などで不透明感を増している。本セッションでは、変化するアジア太平洋および中南米主要国の政治経済環境の中で、いかに「開かれた地域主義 (Open Regionalism)」が日本と中南米の発展に寄与するかを議論する。

モデレーター : 工藤 章 ラテンアメリカ協会理事

キーノートスピーカー: 桑山幹夫 神戸大学経済経営研究所フェロー (15 分)

スピーカー : ・ソランジ・マルケス・エスピノサ、

メキシコ国際問題評議会 (COMEXI) 評議員・研究員 (10 分)

・エドゥアルド・アルベルト・サドゥス、

アルゼンチン国際関係評議会 (CARI) アジア委員会委員長 (10 分)

—ディスカッション・Q&A— (25 分)

14:35-15:35 **第 2 セッション** (60 分)

**「質の高い成長を目指して」—その実現に貢献する国際協力**

制度改革や地域連携を通して発展を目指す中南米諸国が、更なる「質の高い成長」

に向けた歩みを進める上での今後の課題と、その実現に貢献する国際協力と国際機関（OECD、APEC、IDB等）の役割を議論する。

モデレーター： 中村圭介 米州開発銀行（IDB）アジア事務所長

キーノートスピーカー： 細野昭雄 国際協力機構（JICA）研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー （15分）

スピーカー： ・オリバー・デラ・コスタ・ストウンケル、  
ジェトゥリオ・ヴァルガス財団、歴史・社会科学スクール  
（サンパウロ校）国際関係センター准教授 （10分）

・アルベルト・アウグスト・ロハス・モスコソ、フィニス・  
テラ大学（チリ）教授広報・人文学科国際問題研究所長（10分）

・安部憲明 外務省経済局政策課企画官  
（10分）

— ディスカッション・Q&A — （15分）

15:35-15:50 コーヒー・ブレイク （15分）

15:50-16:50 **第3セッション：** （60分）

**「安定した永続的関係の構築—日本の対中南米外交指針『3つのJuntos』の有効性」**

日本と中南米は安倍総理が2014年に提唱した3つのJuntos（発展を共に、主導力を共に、啓発を共に）をベースとした協力関係を築きつつある。アジア太平洋と中南米諸国との関係強化に向けた日本の貢献をこの「3つのJuntos」の観点から議論する。

モデレーター： 宮地隆廣 東京大学准教授

キーノートスピーカー： 堀坂浩太郎 上智大学名誉教授 （15分）

スピーカー： 前田 秀 国際協力機構（JICA）理事 （15分）

パネリスト： ①アルベルト・アウグスト・ロハス・モスコソ、フィニス・テラ大学（チリ）  
②エドゥアルド・アルベルト・サドウス、アルゼンチン国際関係評議会（CARI）  
③ソランジ・マルケス・エスピノサ、メキシコ国際問題評議会（COMEXI）  
④オリバー・デラ・コスタ・ストウンケル、ジェトゥリオ・ヴァルガス財団

16:50-17:00 閉会挨拶： 前田 秀 国際協力機構（JICA）理事

— 閉 会 —

17:10-18:30 レセプション)